

氏名(本籍)	かみ むら えつこ 上村 恵津子(東京都)		
学位の種類	博 士(心理学)		
学位記番号	博 乙 第 2502 号		
学位授与年月日	平成 22 年 3 月 25 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項該当		
審査研究科	人間総合科学研究科		
学位論文題目	保護者面談における教師の連携促進プロセスに関する研究		
主査	筑波大学教授	教育学博士	新井 邦二郎
副査	筑波大学教授	Ph.D	石隈 利紀
副査	筑波大学准教授	教育学修士	飯田 浩之
副査	筑波大学教授	博士(教育学)	茂呂 雄二

## 論文の内容の要旨

### (目的)

本論文は、小学校における保護者面談において教師が保護者と連携を促進するプロセス、およびそこでの教師の発話特徴を明らかにすることを目的としている。

保護者と教師の連携の現状として、連携の機会の不十分さや両者の役割の違いから生じる認識のズレ等、連携を困難にさせる要因が多く、教師のはたらきかけがその意図する通りには保護者に受けとめられない実態が見られる。またこのような実態から、連携自体が教師にとってストレスになっている。

### (方法)

本論文は、主に調査と発話分析法を採用した。論文の第Ⅰ部では文献研究により研究の理論的背景を検討した。第Ⅰ章で保護者と教師の連携の現状と課題を明らかにし、第Ⅱ章では保護者面談に関する研究を行った。保護者面談の特徴を、カウンセリングとコンサルテーションの特徴と比較した。第Ⅲ章では、保護者面談における教師の連携促進プロセスを明らかにする研究方法を検討した。第Ⅱ部は研究の目的および構造を示した。第Ⅴ章で本研究の目的および構成を述べ、第Ⅵ章で主な概念を定義した。第Ⅲ部は教師のことばによるはたらきかけに対する保護者のとらえ方を調査した。第Ⅶ章で、通常学級に在籍する子どもをもつ母親とLDの子どもをもつ母親を対象に調査を行った。第Ⅷ章では、通常学級に在籍する子どもをもつ父親とLDの子どもをもつ父親を対象に調査を行った。第Ⅳ部は修正版クラウンデッド・セオリー・アプローチにより教師の発話分析を行い、保護者面談における教師の連携促進プロセスと教師の発話特徴を明らかにした。第Ⅹ章でロールプレイの教師役の発話、第Ⅺ章で実際の面談の教師の発話を分析した。第Ⅴ部は修正版クラウンデッド・セオリー・アプローチにより保護者の発話分析を行い、保護者面談における保護者の連携構築プロセスと保護者の発話特徴を明らかにした。第Ⅼ章でロールプレイの保護者の発話、第Ⅽ章で実際の面談の保護者の発話を分析した。第Ⅵ部は同調性、コミュニケーションの方向性、サポートの発話状況に焦点をあて、保護者と教師の相互作用の分析を行い、保護者との連携を促進する教師の発話特徴を明らかにした。第Ⅶ部は第Ⅵ部までの研究を総括し、保護者面談における教師の連携促進プロセスおよび教師の発話特徴を、一般的な対人援助モデルと教師の専門性の視点から検討した。

### (結果と考察)

保護者に調査を行った結果、母親は、家庭での対応を教師が提案する指導的サポートよりも、教師が何らかの行動を起こす道具的サポートや母親へのポジティブな評価を示す情緒的サポートの方を援助的ととらえやすいことが確認された。さらにLD児の母親は、援助的との評価が教師と共に行動する意欲につながりやすいことが明らかになった。一方、父親は、評価的サポートより報告的サポートや道具的サポートを援助的ととらえやすいことが確認された。またロールプレイおよび実際の面談における教師の発話を分析した結果、教師の連携構築プロセスは【援助策具体化プロセス】と【保護者との連携構築プロセス】の2つの軸で構成されることを確認した。さらに連携を促進する教師には、対応策を提案する前に情報交換を十分に行い、提案に至るまでの教師の思考過程を言語化しつつ具体的に対応策を提案するといった発話特徴を見出した。このように保護者と教師の連携を促進する各種要因が明らかにされた。

### 審 査 の 結 果 の 要 旨

保護者面談を教師と保護者との連携を促進する良い機会と捉え、保護者面談のプロセスについて発話分析法を用いて研究を行ったことは独創的であると同時に、現実の教育活動に貢献するものであり、高く評価できる。また、用いられた研究方法が緻密に実施され、実践上の問題を科学的にしっかりと方法論で研究していることも、評価できる。さらに、得られた結果を基にして、連携を促進する保護者面談において教師としての専門性をいっそう求めると同時に、状況に応じて自らの専門性との距離を変容させる柔軟性を教師に求めるなど、広い視野に立った考察が行われていて、今後の保護者面談において有益な示唆を提供するものである。

よって、著者は博士（心理学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。